

◇ 学習指導案について ◇

この学習指導案は、各教科等の特性により形式や内容に若干違いはありますが、基本的には以下のようになっています。

御覧になる際には、下記のことを参考にしてください。

〇〇科学学習指導案，または略案

〇年〇組 〇〇名 指導者 〇 〇 〇 〇

リード文…今回の授業で、検証したいことについて述べてあります。

1 単元（題材） 〇〇〇〇

2 目 標

※ 本単元（題材）で身に付けさせたいことを指導目標として述べてあります。

3 単元（題材）の評価規準

- ～に関心をもち、～意欲的に調べることを通して、～しようとしている。 【関心・意欲・態度】
- ～について考え、～している。 【思考・判断・表現】
- ～を活用するとともに、～することができる。 【技能】
- ～を理解している。 【知識・理解】

※ 単元（目標）を分析して、子どもの姿で述べてあります。

※ 評価規準の観点は4観点を基本としていますが、教科等によって異なります。

4 単元（題材）について

(1) 単元（題材）の価値

※ 単元（題材）設定の意義や教材観について述べてあります。

(2) 子どもの実態と指導

※ 本単元（題材）にかかわる内容について子どもの実態を明らかにし、共感的な子ども理解という立場から、子どもをどのようにとらえているかを述べてあります。

5 指導計画（総時数〇時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
つかむ・見通す	<p>1 身の回りの古い道具や写真を見ながら、使い方やそのころの暮らしについて話し合い、学習問題を作る。</p> <p>【関：昔の生活について関心をもって調べようとしている。】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>～することで、～できるよう（もてるよう）にする。</p> <p>※ 学習活動に対しての手立てを述べます。</p> </div>	1 (本時)

6 本 時 (○/○)

(1) 目 標

※ 単元（題材）の目標や評価規準を基に、指導目標を述べてあります。

(2) 評価規準

※ 指導計画の本時に位置付けてある評価規準を述べてあります。これが本時で重点的に評価し指導していく内容になります。

(3) 指導に当たって

※ 活動の流れに沿って、どのような指導を行っていくかを述べてあります。

(4) 本時の展開 重点化するスキル [] 子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

過程	時間	主 な 学 習 活 動 と 指 導 の 手 立 て
調べる	30	<p>5 グループで話し合いながら、それぞれの方位の共通点や相違点について考え、発表する。 比較する</p> <p>○ キーワードを教師が提示することで、発表内容を比較して考えることができるようにする。</p> <p>○ 学校の北と南の様子について、調べたことを「ベン図」にまとめていくことで、北と南の共通点や相違点に気付くことができるようにする。</p> <p>※ 各方位の共通点や相違点に気付き、キーワードをもとに学校の周りの様子についてまとめることができたか。（評価方法）</p> <p>○ 達成している子どもには・・・</p> <p>○ 達成していない子どもには・・・</p>

※ 「MS ゴシック」 : 「思考スキル」を活用し、思考力・判断力・表現力を高める教師の指導の手立てや協同的な「学び合い」の中で思考力・判断力・表現力を高める教師の手立てを述べてあります。

※ 学習活動におけるには評価は※で表しています。また、評価の見取り方を（ノート）、（発表）、（作品）、（ワークシート）など具体的な方法で示しています。
（波線）には、評価規準を見取った後の指導について述べてあります。

※ 本時の終末には、 で、学習のまとめを示しています。